

日本共産党  
市議会議員団  
議会報告

2011

迎春

みなさんと力をあわせ  
今年もがんばります

明るい米子

2011年1月  
日本共産党米子市議会議員団／発行  
米子市加茂町1-1 電話23-5517(直通)

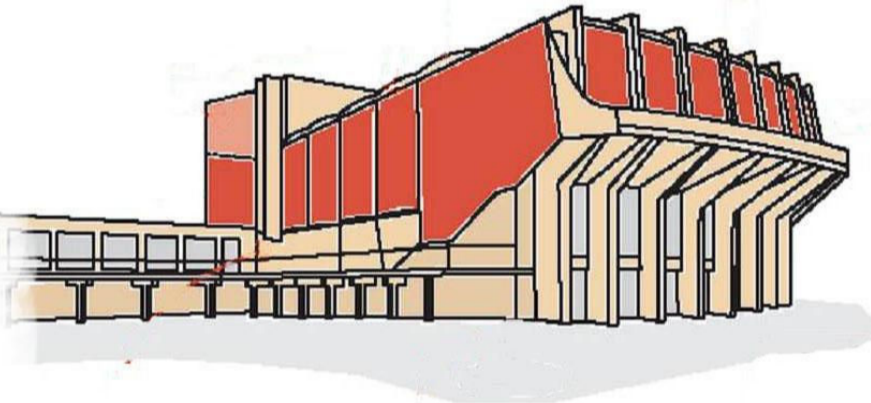


松本松子 議員 石橋よしえ 議員 岡村えいじ 議員

米子市公会堂存続へ  
市民の運動実る

米子市公会堂の存続が決まりました。12月議会に向け5万筆に及び署名を積み上げ、存続の運動をくり広げた、市民の力が勝ちとった陳情採択でした。

12月議会を前に野坂康夫市長は公会堂を存続する方針を表明しました。その理由は①その役割の代替えとなるものがなく、廃止すれば市民の文化・芸術活動が低下する恐れがあること。②ランドマークとして中心市街地にあり、にぎわいトライアングルの一角がなくなることの影響が大であることです。



そして12月議会では、継続審議となっていた、「米子市公会堂の存続と早期改修を求める陳情」が賛成多数で採決されました。付託された経済教育委員会では、財政面の論議が不十分、改修後の公会堂の活用やその経済効果が検討されていないことなどを理由に、継続審議となりました。しかし本会議では逆転、再度開いた同委員会と本会議で賛成多数で採択されました。

改修後の新生公会堂が、米子市民の文化・芸術のさらなる振興に繋がり、米子という街の発展の核となるように、智恵と力を出し合って、より素晴らしい施設にしましょう。故村野藤吾氏の代表作と言っても良いといわれる価値ある建造物を文化財として大事に使いながら後世に残すという課題もあります。

【採択に賛成の議員】石橋佳枝、岡村英治、松本松子（日本共産党米子市議団）伊藤ひろえ、稲田清、国頭靖、小林重善、西川章三、松井義夫、矢倉強（よなご会議）門脇邦子（ムスカリ）杉谷第士郎（コモンズ）中川健作（市民派）中田利幸（仁）山川智帆（虹）以上15名

【退席した議員】岩崎康朗、尾沢三夫、竹内英二、野坂道明、藤尾信之、松田正、湯浅敏雄、渡辺穰爾（蒼生会）笠谷悦子、原紀子、安木達哉、安田篤（公明党議員団）遠藤通（一院クラブ）以上13名

「TPP参加に反対を」の陳情 継続  
共産党は採択を主張

鳥取県農民連から提出された「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の参加に反対する陳情書」が、12月議会では継続審査となりました。

TPPは関税を原則撤廃し、輸入完全自由化をすすめるもので、日本の食料自給率は14%にまで低下するなど、日本農業と地域経済に深刻な打撃となります。TPP参加による県内農業への影響を鳥取県が試算したところ、年間生産額（702億円）が45%も減少。コメの場合、県内全体では150億円、米子市だけでも13億7千万円も生産額が減ってしまいます。

推進する勢力は「バスに乗り遅れる

な！」と参加をあおっていますが、現在の参加国はシンガポールなど4カ国。これにアメリカなど5カ国が参加協議に加わっていますが、結局、2カ国間のFTA（自由貿易協定）などが進まないアメリカ、オーストラリアといった農林水産物輸出大国に門戸を開こうとするものです。

この「完全自由化」の恩恵を受けるのは自動車、電機など一部輸出大企業だけです。地球的規模での食料不足が大問題になっているとき、輸入依存をさらに強め農薬漬けの輸入農産物を国民に押しつけることは「亡国の政治」です。

県内の農協なども反対の声を上げ、各議会でも同陳情が採択されています。岩美町では各種団体が参加して「町民反対集会」が開催されました。「継続でなく採択を！」と共産党市議団は主張しました。



子どもの医療費助成  
中学校卒業まで広がる

今年4月から子どもの医療費の助成が、これまでの小学校就学前までから中学校卒業までに変わります。日本中の女性団体などが粘り強く運動を続け、日本共産党は「中学校卒業までの医療費無料化」を繰り返し求めてきました。引き続き完全無料化をめざし頑張ります。



### 岡村えいじ議員一般質問

#### 中学校給食の早期実施

近年、中学校給食が未実施だった自治体で、実施に踏み切るケースが増加。その背景は二〇〇五年の食育基本法の制定、〇八年の学校給食法の改正などで食育推進の観点が盛りこまれ、新学習指導要領において学校における食育の推進が明確になったことです。

**岡村議員** こうした状況で、中学校給食を実施することは社会的な要請にこたえることだと思うが、どうか？

**市長** 今後の財政状況を勘案しながら検討していく必要がある。

何を指摘されてもかたくなな態度に終始する市長です。

◆◆ 市内の学童保育（なかよし学級）では、入所を希望しても入れない児童が増えてきました。その解消策として市が持ち出し、ことし四月から実施しようとしているのが民間幼稚園などへの業務委託です。

岡村議員は、指導員の質の確保や待遇、保護者負担などについて市の考えをただし、「民間に丸投げし市の責任を放棄することは許されない」と強調しました。

### 石橋よしえ議員の一般質問

#### 命おびやかす国保資格証の発行

国民健康保険の加入者は、大半が年金生活者、失業者などです。国の負担を減らし、保険料を引き上げたために、滞納が多数あります。病院へは行かない、お金がなくて治療を中断するなど、受診を抑制する人が増えています。

昨年米子でも資格証（医療費全額負担）となって病院には行けず、命を落とした方がありました。国保は、憲法25条により、全ての国民に健康な生活を保障するための制度です。高い保険料で国民を苦しめ、死に至らせるなど、あってはならないことです。

県下で発行された資格証の半数は米子、現在700世帯に及びます。

石橋議員は、命と健康の「差し押さえ」である資格証の発行はただちに中止すべきといただきました。しかし、市長は、保険料納付について話し合う機会をつくるための発行だと、その姿勢を変えませんでした。

◆◆ この他●誰もが安心出来る介護保険への転換を求めて●公会堂の耐震改修は市民参加で●ポートピア進出による市民への影響について

### 松本松子議員の一般質問

#### 公立保育所の民営化は公的責任の放棄

米子市は「さくら」夜見「大和」の3保育園を民営化すると発表しました。**松本議員** どんな理由で決めたのか。

**市長** 公立園で残さなければならぬ園に配点を厚く、園舎が新しく当面修理がない園に配点を薄くし、総点数で決めた。

◆◆ 松本議員は民営化で人件費、それも臨時や非常勤の人員費を削ったわずかな財源で多様なニーズ、保育環境の改善、待機児童の解消、地域の子育て支援に 대응するというが本当にできるのか。

◆◆ 国が進める国保の「広域化」は市町村に一般会計から国保会計への繰り入れをやめさせ、減免制度の廃止、収納率の強化、受診抑制を迫るものです。

### 松本議員 きっぱり反対する考えか。

**市長** 国保の「広域化」は不可欠。加入者いじめばかりの「広域化」に市長は賛成しました。

#### ガイナール鳥取へ一千万円の出資

共産党市議団は苦しい米子市財政を鑑み、ガイナール鳥取への重ねての出資には応じないことを確認し援助に賛成しました。

平成二一年度米子市一般会計決算認定に左記の理由で反対しました。

- 国民健康保険では、お金の持ち合わせがなく納付相談に来られない世帯に保険証を取り上げる制裁措置を行っている。
- 後期高齢者医療では、年金一八万円以下で保険料を滞納している五六人に短期証を発行している。
- 同和対策は、同和地域に限った進学奨励金や固定資産税の減免を止め、公平・平等な行政にもとし根本的に正常化させるべきである。

### 図書館・美術館の整備

#### 二年後にリニューアル

公会堂の存廃問題と絡め、九月議会で附帯決議により執行が“保留”されていた市立図書館・美術館整備事業が動き出すことになりました。市長が公会堂の耐震補強・存続方針を明言した状況を踏まえ、両館整備の基本設計に着手する見通しがついたものです。

基本設計に着手し、五月の1カ月間をかけてパブリックコメント、タウンミーティングを実施し市民意見を集約し、それを反映した基本設計を九月までに完成させる予定です。実施設計をおこない二〇二二年（平成24年）七月に工事に着手、翌一三年八月の供用開始をめざします。

市では、基本設計を完成させるまでに、市民から出された意見を集約する機関として、高齢者や障害者、施設利用者、建築専門家などからなる基本設計市民懇談会（仮称）を設置し、基本設計に市民の声を反映させる、とついでいます。



お気軽に  
相談を

仕事・  
くらしの  
悩み

日本共産党生活相談所

電話・Fax 32-5590

米子市富士見町136

岡村えいじ Tel 29-3475  
 プログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/o/>  
 松本松子 Tel 56-2504  
 プログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/m/>  
 石橋よしえ Tel 28-7598  
 プログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/i/>